

岩大教第64号
令和5年2月3日

各関係大学長
各関係学部長 殿
各関係機関の長

岩手大学教育学部長
境野直樹
(公印省略)

教員公募について(依頼)

このたび、本学部では下記の要領により教員を公募します。
つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきますよう、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 職位 准教授又は講師【女性限定】
(講師の場合はテニユア・トラック教員となります。)
2. 採用人数 1名
3. 専門分野 社会科教育学(日本史教育分野)
4. 担当科目
学部科目：社会科教育学概論A(地理歴史)、中等社会科教育法A(社会・地歴)、
地理歴史科教育法、社会科教育学特別演習A、日本史概論、小学校社会(分担)、
社会科学習内容構築論(分担)、教職実践演習(分担) 等
教養教育科目：基礎ゼミナール 等
大学院(教育学研究科 教職実践専攻(教職大学院))科目：
「社会科教育の実践と課題」 等
5. 任期
准教授採用の場合：なし(ただし、65歳となった年度の末日をもって定年退職)
講師採用(テニユア・トラック教員)の場合：5年。ただし、採用から3年経過する日までに中間評価、4年6か月となる日までにテニユア審査をそれぞれ行います。テニユア付与については、准教授に必要とされる目標値を達成したと判断された場合に、テニユア(准教授、任期なし)が付与されます。なお、中間評価において、特に優秀な評価を得た場合には、その時点でテニユア付与の適格性について審議する場合があります。
6. 応募資格
 - (1) 女性であること。
「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に関わる措置に関する特例)の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を実施します。
 - (2) 博士の学位を有する者。又はこれに準ずる研究業績を有する者。
 - (3) 大学院(教育学研究科 教職実践専攻(教職大学院))において、教育・研究の指導ができる者。
 - (4) 小中高等学校における教育実践経験、又は教育研究機関等での勤務経験を有する者、

また、あわせて歴史学（日本史）に関連する研究業績を有している者が望ましい。
（５）採用後は、盛岡市又はその近郊に居住できる者。

7．採用予定日 令和6年4月1日

8．提出書類

- （１）教員の個人調書（本学の書式による。写真添付。A4判用紙、パソコン使用。）
- （２）教育研究等業績書（本学の書式による。著書、学術論文（実務経験者については、実践報告等も学術論文の一部に代えることができる。）、教育活動、地域・社会・国際交流貢献活動等に分けて年代順に記載。A4判用紙、パソコン使用。）
- （３）業績一覧
 - ・「分野」、「判定」欄は空欄とする。
 - ・「業績」欄は本数を記入、「教育研究歴」は年数を記入する。
- （４）（２）の研究業績のうち主要著書・論文等合わせて5編以内（コピーでも可）。ただし、必要に応じて追加して論文等の提出を求める場合があります。
- （５）本学採用後の教育・研究（小中学校の教員養成を含む）に対する抱負（A4判2枚）
- （６）応募者の業績等の照会先（氏名と連絡先：1名）

本学所定の教員個人調書・教育研究等業績書・業績一覧の書式は、本学部ホームページからダウンロードして下さい。（Word）『岩手大学』『岩手大学教育学部』『お知らせ』
(<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/>)

9．応募締切 令和5年4月14日(金)必着

10．提出先

応募書類は郵送又はインターネット（e-mail）により受け付けます。

（１）郵送の場合

封筒に「社会科教育科教員（社会科教育学（日本史教育分野））応募書類在中」と朱書きし、以下の提出先に書留便（簡易書留も可）で送付してください。

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 岩手大学教育学部長 宛

（２）インターネット（e-mail）の場合

応募書類は、それぞれ PDF 形式のファイルとしてメールに添付して、応募先メールアドレスにお送りください。添付ファイルのサイズは20MB以内としてください。

なお、メールの件名は「社会科教育科教員（社会科教育学（日本史教育分野））応募」としてください。書類受領後3日以内にメール返信をしますので、返信がない場合はお問い合わせください。

書籍などメールに添付できない書類を送る場合には、封筒の表面に「社会科教育科教員（社会科教育学（日本史教育分野））応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合の（１）の提出先に書留便（簡易書留も可）で送付してください。

応募先アドレス：ntuchiya@iwate-u.ac.jp、edujim@iwate-u.ac.jp

（必ず両方のアドレスにお送りください。）

11．照会先 岩手大学教育学部社会科教育科 土屋直人 E-mail: ntuchiya@iwate-u.ac.jp
または教育学部 学部運営グループ
TEL: 019-621-6504 Fax: 019-621-6600 E-mail: edujim@iwate-u.ac.jp

12．その他

- （１）採用者の決定は、研究業績のほか、教育上の能力、社会貢献に関する業績及び大学等の組織運営上の実績等も考慮します。
- （２）速やかに連絡がとれるように、携帯電話番号、電子メールアドレス等があれば「教員の

個人調書」に記入してください。

- (3) 書類選考後に面接を行います。旅費等は応募者負担となりますので、ご承知おきください。
- (4) 提出していただいた書類等は原則返却しませんが、返却を希望する場合はその旨を明記し、着払いの送り状を添付してください。
- (5) 応募書類に含まれる個人情報、採用者の選考および採用後の必要な手続きに使用するものであり、他の目的では使用しません。
- (6) 採用後は教育学部の教員として教育実習関連業務や現職教員の研修に係る業務に従事していただきます。
- (7) 学部専門科目のほか、教養教育科目も担当していただきます。具体的には、採用後、自身の専門分野に関連した科目委員会へ所属し、委員会の所掌する科目を担当することになります。
- (8) 岩手大学はダイバーシティを推進しています。その一環として、本公募に関し以下の取組を実施しています。

【若手教員採用促進に関する取組】

- ・講師採用者（テニユア・トラック教員）には、スタートアップ支援経費（1年あたり50万円）を2年間支給します。

【女性教員採用促進に関する取組】

- ・本学に赴任する女性教員に対しては、定着支援経費の支給があります（教授・准教授に対しては50万円を2年間、講師・助教に対しては上記のスタートアップ支援経費に加えて10万円を2年間）。
- ・産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合（性別不問）には、選考の過程で考慮します。

両住まい手当制度など、女性等多様な研究者の増加・定着のための支援策を行っております。

各種支援制度についてはこちら

(<https://www.iwate-u.ac.jp/gender/kkshien/support.html>)

学内保育所についてはこちら

(https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/wlb_hoikusho.html)

学内保育スペースについてはこちら

(https://www.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun_guide.html) をご覧ください。